

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	19-6																																					
PDCA	主要事業名	特定健康診査等事業	部課名	福祉部健康課	担当	山本輝																																					
					内線	376																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3-2-1,3-3-1 単位施策： 健康づくり、地域医療体制 全体事業期間： 令和4年度～4年度 全体事業費等： 115,819千円 会計 国民健康保険事業特別会計 歳出科目： 04.01.02.02.01					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																					
	事業概要等	事業概要： かかりつけ医と連携し、40歳から74歳までの被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着手した個別健診方式による、特定健康診査・特定保健指導を継続実施する。受診率向上のため、ハガキや封書、電話による受診勧奨を実施する。																																									
		事業目的： 被保険者の健康意識を高め、メタボや生活習慣病の重症化を予防する。保健指導により生活習慣や健康状態の改善を図る。																																									
		事業内容： 特定健康診査・特定保健指導を実施する。受診率向上のため未受診者に対し、受診勧奨を行う。																																									
		問題点・課題等： 特定健康診査受診率・特定保健指導利用率を向上させる必要がある。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	115,819千円	被保険者のQOL（生活の質）向上や健全な国保財政（医療費の抑制）のため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費	被保険者の健康の保持・増進、生活習慣病重症化予防、医療費抑制を図ることができる。																																									
	31,226千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定健康診査受診率</td> <td>実績値</td> <td>53.5</td> <td>51.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>59.0</td> <td>60.0</td> <td>61.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定保健指導利用率</td> <td>実績値</td> <td>34.0</td> <td>26.2</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>39.0</td> <td>41.0</td> <td>43.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	特定健康診査受診率	実績値	53.5	51.0	—	%	目標値	59.0	60.0	61.0	%	特定保健指導利用率	実績値	34.0	26.2	—	%	目標値	39.0	41.0	43.0	%	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
特定健康診査受診率	実績値	53.5	51.0	—	%																																						
	目標値	59.0	60.0	61.0	%																																						
特定保健指導利用率	実績値	34.0	26.2	—	%																																						
	目標値	39.0	41.0	43.0	%																																						
その他	実績値																																										
	目標値																																										
0千円																																											
84,593千円																																											
0千円																																											
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用																																				
	102,197千円	特定健康診査受診率は、前年度比0.9%減少したものの、県平均38.4%（※R3が最新値）と比べると高い水準を維持した。特定保健指導利用率は、前年度比6.1%増加し、県平均17.6%（※R3が最新値）より高い水準であり、疾病の早期発見・早期治療による医療費の適正化に寄与した。																																									
		成果指標			令和4年度	単位																																					
		特定健康診査受診率	実績値	50.1	%																																						
			目標値	61.0	%																																						
		特定保健指導利用率	実績値	32.3	%																																						
			目標値	43.0	%																																						
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 未受診者への受診勧奨（ハガキ、封書による勧奨、がん検診との合同健診等）を実施し、特定健康診査の受診率向上を目指した。また、新型コロナウイルス感染症による受診控えに対応するため、健診期間を約1か月延長して実施し、被保険者の受診機会の確保に努めた。特定保健指導利用率は、積極的な訪問や面談を実施したことで、目標値には届かなかったものの前年度比6.1%増加し、被保険者の生活習慣改善につなげることができた。																																									
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 特定健康診査受診率及び特定保健指導利用率の向上につながるよう講座やイベントの時期や内容について工夫する。 また、第3期データヘルス計画の策定を通じて、最新の健康・医療情報の分析結果から、より効果的・効率的な保健事業を目指す。																																									
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																				
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	—																																				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																						